

第55回 全日本聾教育研究大会  
(島根大会)  
開催要項



全日本聾教育研究会  
J.A.E.R.D

全日本聾教育研究会  
中国地区ろう教育研究会・四国地区聾教育研究会  
全日本聾教育研究大会(島根大会)実行委員会

2021年 10月14日(木)～15日(金)

## 島根大会の開催方法について

新型コロナウイルス感染症の収束が見渡せない中、埼玉大会においては全日本聾教育研究大会で初めてのWeb開催により画期的な成功をおさめられました。

引き続きウィズ・コロナとしての島根大会の開催をめぐることは、鹿嶋会長と埼玉大会事務局の桑原副会長、本部事務局との幾度かの協議、全国の特別支援学校（聴覚障がい）の緊急アンケートによるご意見、また秋に県内集合型で実施した島根大会プレ大会の授業研究分科会助言者からのご助言等を基に、ウィズ・コロナの地方大会として精選した集合開催及び一部Web会議のハイブリッド型の開催方法を提案したところでした。私たちの願いは、集合開催をベースに全国からの参加者と一体になって授業研究等の協議を深め、そして、助言者や参加者の皆様と直接に「ろう教育のこれから」を語り合える場にあることでした。

しかし、今日現在の状況を鑑みて、今後も極めて厳しい見通しが予想されることから、Web会議のみの開催方法に絞ることとしました。本校の運営規模に合わせた内容となり縮小化は避けられませんが、助言者の先生方の長年にわたるご指導を基に、授業では本校らしさを発揮し、学校及び学部・寄宿舎の3年間の研究の集大成としていきたいと存じます。

全国の会員とともに聾教育の継承とさらなる発展を目指して、本研究と大会運営にまい進していく所存です。どうぞご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

島根大会実行委員長 福島 朗博

本要項ではWeb会議システムについて、次のように用語を定義しています。

### <用語の定義>

- 「ライブ配信」 … Web会議システムを使い、リアルタイムで視聴する。またはやりとりを行うこと。
- 「オンデマンド配信」 … 大会ホームページ上に載せてあり、事前もしくは事後にダウンロードして視聴すること。
- 「Web会議」 … パソコンやスマートフォンやタブレットを使用し、会員が在勤公署からインターネットで会議に参加できる等のコミュニケーションができること。

## 第 55 回 全日本聾教育研究大会（島根大会）開催要項

- 1 大会名称 第 55 回全日本聾教育研究大会（島根大会）
- 2 大会主題 子どもたちが自分らしく主体的に生きる姿を目指して  
【主題設定の理由】  
今日の社会は、グローバル化、情報化、技術革新など、急速なスピードで、実に多様に変化してきている。特別支援学校（聴覚障がい）・聾学校においても、人工内耳装用児や聴覚障がいと発達障がいを併せ有する子どもの増加など、幼児・児童・生徒の実態や教育環境は大きく変化し、子どもたち一人一人の聞こえ方やコミュニケーションモードはもちろんのこと、教育的ニーズも多様である。その一方で合理的配慮や手話言語条例等、自らを積極的にアピールし主体的に社会に働きかけていく流れも生まれてきている。今後も、更なる変化が起これ、新たなニーズが生まれていくことが予想される。どのように社会が変化しても、子どもたちには、「生きる力」を身につけ、自分の人生を自ら切り開き、社会をつくる主人公として歩いてほしいという従前より大切にしていた我々の願いが、より一層求められていると考える。  
多様な文化、価値観をもった人たちと共に生きていくということは、ただ単に場を共にするだけではなく、それぞれが確固たる個性として自分らしさを持ち、互いに尊重することで初めて協働が生まれ、様々なことを生み出していくことができる。それが目指すべき共生社会であると考えます。  
子どもたちには、愛情と信頼に基づいた大人との関係を基盤に、他者との関わりを広げながら考え、判断するなかで自己有用感や自己肯定感をもち、自分らしさを十分発揮してほしい。同時に、相手を尊重し、自らを主張したり他者と折り合いをつけたりしながら、新しい考えや方法を生み出し共に生きることに喜びを見出す人になってほしい。その実現に向かって、私たちは今関わっている子どもたち一人一人の姿から日々学び、地道に謙虚に、その方法を探っていくことが大切だと考えている。  
本大会では、参加者の皆様と共に、自分らしさを発揮して、様々な活動に生き生きと取り組む子どもたちを育てる聴覚障がい児教育を追求したい、という思いを込めて、本主題を設定した。
- 3 会 期 令和 3 年（2021 年）10 月 14 日（木）・15 日（金）
- 4 情報発信場所 <指定授業・記念講演・授業研究分科会>  
島根県立松江ろう学校  
〒690-0121 島根県松江市古志町 1 9 1-6
- 5 参加会場 会員の在勤公署
- 6 主 催 全日本聾教育研究会、中国地区ろう教育研究会、四国地区聾教育研究会
- 7 主 管 校 島根県立松江ろう学校
- 8 協 力 校 島根県立浜田ろう学校 鳥取県立鳥取聾学校 鳥取県立鳥取聾学校ひまわり分校  
岡山県立岡山聾学校 広島県立広島南特別支援学校 広島県立呉南特別支援学校  
広島県立尾道特別支援学校 山口県立山口南総合支援学校  
徳島県立徳島聴覚支援学校 香川県立聾学校 愛媛県立松山聾学校  
愛媛県立宇和特別支援学校 高知県立高知ろう学校
- 9 協賛（予定） 公益財団法人聴覚障害者教育福祉協会、小川再治研究協賛会  
公益財団法人日本教育公務員弘済会島根支部
- 10 後援（予定） 文部科学省、島根県教育委員会、松江市教育委員会、全国聾学校長会  
全国聾学校教頭会、全国特別支援学校長会、中国地区聾学校長会  
四国地区聾学校長会、中国・四国地区聾学校教頭会、島根県特別支援学校長会  
全国ろう学校 PTA 連合会、中国・四国ろう学校 PTA 連合会  
全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会

## 11 新型コロナウイルス感染拡大防止のための開催方法の変更について

集合型での開催方式で準備を進めていましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大が続いている状況をふまえ、次のとおり動画配信やオンライン会議システムを活用した Web 方式に切り替えることにします。

Web 方式による内容や視聴方法の詳細は、今後の大会通信にてお知らせします。

### (1) Web 方式の概要

	運営方式・内容
公開授業	実施しません
指定授業	<b>【オンデマンド配信】</b> 9月にオンデマンド配信し、事前に質問意見受け付け
授業研究分科会 (幼・小・中・高)	<b>【ライブ配信】</b> 指定授業について ・授業者の振り返り ・事前の質問意見に対する授業者の回答 ・指導助言者による授業への指導助言 学部研究について ・学部研究について説明 ・指導助言者による研究内容についての指導助言 等
授業研究分科会 (寄宿舎)	<b>【ライブ配信】</b> ・松江ろう学校研究発表(概要) <詳細はHP上で事前公開> ・事前の質問意見に対する発表者の回答 ・指導助言者による研究内容についての指導助言 ・情報交換 等
研究協議分科会	<b>【紙上報告】</b> (各発表への助言コメント付) + <b>【(希望者のみ) オンデマンド配信】</b> (発表者作成の発表動画)  ※研究協議分科会は紙上報告としますが、加えて発表者自身が作成した発表動画をHPに掲載することが可能です。
記念講演	<b>【オンデマンド配信】</b> (10/14より一定期間)
各種挨拶	<b>【オンデマンド配信】</b>

### (2) 実施の流れ

- ① 9月にHP上で指定授業の動画(授業動画または授業者の解説動画)と、寄宿舎の研究発表動画をオンデマンド配信する。
- ② 9月30日(木)締切に、事前の質問意見を受け付ける。
- ③ 10/14(木)、15(金)に、Zoomで授業研究分科会をライブ配信で行う。

	午前	午後
1日目 10/14(木)		・幼稚部(予定) ・中学部(予定)
2日目 10/15(金)	・寄宿舎	・小学部(予定) ・高等部(予定)

※当日、不測の事態(自然災害や大規模停電等)により、松江ろう学校周辺のインターネットが不通となった場合は、後日指導助言者の資料等のまとめを、所属校を通してメールにて配信します。

## 12 設定分科会

### (1) 授業研究分科会 【ライブ配信】

分科会		研究テーマ	助言者
1	幼稚部	みて、きいて、考えて、表現する力を育む ～人やものとの関わりを通して～	元筑波大学教授 公益財団法人 聴覚障害者教育福祉協会 事務局長 松本 末男 氏
2	小学部	思考力・判断力・表現力を育てるための指導 の工夫 ～思考ツールを活用した授業づくりを 通して～	東京学芸大学 教授 澤 隆史 氏
3	中学部	思考力・判断力・表現力を育てるための授業 づくり ～生徒の重点目標達成に向けた実践を ふり返り、次の授業へつなげる取組～	筑波技術大学 教授 長南 浩人 氏
4	高等部	思考力・判断力・表現力を育てるための授業 づくり ～手立てや支援の検討を重ね次の授業につ なげる取組～	金沢大学 教授 武居 渡 氏
5	寄宿舎	舎生が安心して自己表現できる寄宿舎をめざ して ～エピソード記述を用いて舎生の内面を見 つめる～	島根大学 教授 原 広治 氏

### (2) 研究協議分科会 【紙上報告】 + 【(希望者のみ) オンデマンド配信】 (発表者作成発表動画)

分科会		協議主題 (分科会テーマ)	助言者
		主題設定の理由	運営担当校
1	早期教育Ⅰ	乳幼児の健やかな発達や保護者の主体的 な子育てを目指す支援の在り方	信州大学 教授 庄司 和史 氏
		乳幼児が健やかに成長するための基盤で ある親子関係が早期に確立し、保護者が 主体的に子育てに向かえるよう、早期教 育の現場ではどのような支援ができるの かについて研究する。	岡山県立岡山聾学校
2	早期教育Ⅱ	心と言葉を育むための保育実践の工夫	元筑波大学教授 公益財団法人 聴覚障害者教育福祉協会 事務局長 松本 末男 氏
		幼児は豊かな生活の中で、身近な人との 信頼関係を基にコミュニケーションの楽 しさを知る。そうした豊かな心と言葉を 育むための環境づくりと言葉の指導につ いて研究する。	広島県立広島南特別支援学校

3	教科指導Ⅰ (小学部)	基礎的・基本的な学力と豊かな思考力を育てるための実践の工夫	東京学芸大学 教授 澤 隆史 氏
		小学部段階で重要な基礎的・基本的な学力の定着を図りながら、児童の思考の幅を広げたり思考を深めたりするための指導方法の工夫について研究する。	広島県立呉南特別支援学校
4	教科指導Ⅱ (中・高)	言語力や思考力に応じ、一人一人の学びを深めるための実践の工夫	筑波技術大学 教授 長南 浩人 氏
		小学部までに身につけた言語力や思考力の実態に応じ、より高度で抽象化した学習の中で一人一人の学びを深めるための指導方法の工夫について研究する。	山口県立山口南総合支援学校
5	寄宿舎教育	寄宿舎教育における生きる力と豊かな心を育むための工夫	島根大学 教授 原 広治 氏
		異年齢集団での自立した生活の中で、社会性や豊かな人間性を育むための場となる寄宿舎での指導や支援の工夫について研究する。	島根県立松江ろう学校
6	自立活動Ⅰ (聴覚活用、発音・発語、言語指導)	補聴機器や補聴援助システム等を活用した聴覚学習、発音・発語学習の在り方	愛媛大学 教授 立入 哉 氏
		個々の聞こえの状態に応じて様々な補聴機器や補聴援助システム等を有効に活用し、保有する聴覚を最大限に生かすための聴覚学習の指導内容や指導方法について研究する。	鳥取県立鳥取聾学校ひまわり分校
7	自立活動Ⅱ (コミュニケーション、障がい認識、キャリア形成)	自立と社会参加に向けた段階的、系統的な支援の在り方	金沢大学 教授 武居 渡 氏
		卒業後の自立と社会参加に向け、個々の実態や発達段階に応じた段階的、系統的な指導内容や指導方法について研究する。	鳥取県立鳥取聾学校
8	センター的機能	特別支援学校(聴覚障がい)のセンター的機能の在り方	島根大学 教授 野崎 明彦 氏
		特別支援学校(聴覚障がい)に求められるセンター的役割は多様化している。全ての聴覚障がい児がよりよい支援を受けられるように、特別支援学校(聴覚障がい)の果たすべき役割と地域や関係諸機関との連携の在り方について研究する。	島根県立浜田ろう学校
9	重複障がい教育 (発達障がいを含む)	一人一人の発達段階や教育的ニーズに応じた支援の在り方	広島国際大学 教授 國末 和也 氏
		特別支援学校(聴覚障がい)においては、障がいの重複化や多様化が進み、医療的ケアや聴覚情報処理障がいのような新たなアプローチを必要とする子どもたちも出てきている。このように多様化するニーズに応じたきめ細かな支援の在り方について研究する。	広島県立尾道特別支援学校

13 記念講演 【オンデマンド配信】 (10/14 より一定期間)

[講師] 庄司 和史氏 (信州大学教授)

[演題] 「これからの聴覚障がい教育－「育てる」教育から「育つ」を支える教育へ－」(仮題)

14 各種挨拶 【オンデマンド配信】

大会ホームページの参加者メニューに挨拶と祝辞を掲載します。

15 大会参加費について

大会参加費については、大会通信2号にてお知らせします。

16 研究発表

研究協議分科会の研究発表の資格は会員であることとします。

なお、地区研究会に所属していない大学教員等は、本部事務局が対応、掌握の上、会員の資格を得てください。

連絡先	全日聾教育研究大会本部事務局 〒272-8560 千葉県市川市国府台2-2-1 筑波大学附属聴覚特別支援学校内 TEL (047) 371-4135 (代) FAX (047) 372-6908
-----	--

研究発表の詳細については、大会通信2号にてお知らせします。

t

17 大会参加の申込

申込内容	締切日	申込・送付先
① 大会参加申込み 研究発表申込み	2021年6月30日(水) (予定)	全日聾研(島根大会)事務局 (島根県立松江ろう学校)
② 研究発表原稿提出	2021年7月20日(火)	※専用のWebフォームから申込み・提出をしていただきます。

18 大会事務局及び連絡先

<p>第55回全日本聾教育研究大会(島根大会)事務局</p> <p>〒690-0121 島根県松江市古志町191-6 (島根県立松江ろう学校)</p> <p>TEL (0852) 36-7222 FAX (0852) 36-7223</p> <p>大会実行委員会: 校長 福島 朗博 大会事務局長 教諭 安部 泰尊</p> <p>全日本聾教育研究大会(島根大会)事務局メールアドレス</p> <p>shimane@zennichiro.jp</p>
--